

	2014年6月	2014年7月	2014年8月	最近の経済動向
世界	-5日 G7 世界経済強さ下振れリスク -ドバイ原油 23日 111.30 ドル -5月:世界半導体販売 8.8%増	-GDP:14年度:IMF:世界3.4%増、米 1.7、EU 1.1、日 1.6 -ドバイ原油 2日 108.80 ドル -4-6月:スマートフォン世界出荷 23.1%増 -6月:世界半導体販売 10.8%増	-WTO:貿易円滑化採択できず -ドバイ原油 8日 104.60 ドル	・欧州経済は緩やかな回復傾向。米経済は消費・生産堅調。中国経済は減速も7%台成長維持。マレーシア、フィリピン、インドネシア、ベトナムは 6~5%成長、インド 4%台、シンガ 2%台、タイ 2%減、日本経済は回復基調。
日本	-政策:成長戦略・骨太方針閣議決定(法人税 29%) -株価:16日 14,933、24日 15,376、30日 15,162 -雇用:5月:失業率 3.5%前月比 0.1 点改善 -所得:5月:勤労者世帯収入 4.6%減 -消費:5月:消費支出 8%減、小売販売 0.4%減、新車販売 1.2%減、新設住宅着工 15%減 -受注:5月:機械受注 2.6%減、工作機械 24.1%増、産業機械 65.3%増海外 2倍 -生産:5月:鉱工業 1%増、車、繊維、在庫 0.8%増、国内自動車生産 6.1%増、建設機械出荷 5.1%増 -貿易:5月:輸出 2.7%減、15 か月ぶり -、輸入 3.6%減 -投資:東芝 LED 量産 500 億円、5月:機械受注民需 9%減、	-GDP:4-6月:前期比年率 6.8%減、消費増税駆込需要の反動、消費 5%減、住宅 10.3%減、投資 2.5%減、輸出 0.4%減、14年度 1.2%増下方修正、消費 0.3、投資 4.9 輸出 5.3 -景気:6月:大企業製造業景況感:+12、5 点低下 -株価:4日 15,437、11日 15,164、30日 15,646 -雇用:6月:失業率 3.7%前月比 0.2 点悪化 -所得:夏ボーナス 8.5%増、6月:現金給与総額 0.4%増、 -消費:6月:消費支出 3%減、小売業販売 0.6%減、新車販売 0.4%増 3 か月ぶり +、新設住宅着工 9.5%減 -受注:6月:工作機械 34.2%増、産業機械 28.7%増、機械受注前期比 8.8%増、4-6月:電子部品 6.5%増、 -生産:6月:鉱工業 3.1%増、建設機械出荷 1.3%増、1-6月:自動車国内生産 8.7%増 -貿易:6月:輸出 2%減、輸入 8.4%増、1-6月:経常収支:5,075 億円赤字 -収益:4-6月:純益:トヨタ 5%増 5,877 億円、日産 37%増、ホンダ 20%増、三菱自 7%増、コッパ 1%増、営業益:富士重 15%増、キャノン 10%増、IHI 95%増、川重 35%減、シャープ 55%増、46 億円、富士通 50 億円、キーンズ 23%増、日精工 48%増、村田製 360 億円、最終益:日立ハイテク 92 億円、最終損:NEC101 億円	-株価:8日 14,778、25日 15,646、29日 15,424 -雇用:7月:失業率 3.8%0.1 点悪 -消費:7月:消費支出 5.9%減、小売販売 0.5%増、新車販売 2.5%減 -受注:7月:工作機械 37.7%増、産業機械 28.7%増 -生産:7月:鉱工業前月比 0.2%増 -貿易:6月:輸出 3.9%増、入 2.3% -収益:4-6月:純益:三菱商 17%減、三井物 4%減、住商 14%減、クボタ 8%増、日揮 31%減、千代化 89%減、営業益:日立 45%増 801 億円、東芝 57%増 395 億円、三菱電 73%増 593 億円、パナソニック 28%増 822 億円、ソニー 97%増 698 億円、ダイキン 30%増、テッソー 20%減、アイシン 18%減、経常益:上場企業 2%増、 -投資:6月:機械受注民需 8.8%増、14年度:15.1%増	(前々月)・GDP1-3月は駆込需要で 6.7%と大幅増、6期連続 +。失業率 3.5%と若干改善。勤労者所得縮小傾向。駆込需要後、住宅等個人消費 4、5月大幅マイナス。車回復兆し。輸出は円安効果薄れ、5、6月マイナス。受注好調、生産やや鈍化、投資に陰り。経常益前 3 月期 36%増、自動車、機械好調、電機回復。4-6 月も好調。株価回復基調。回復持続、財政赤字の縮小が課題。大幅貿易収支赤字が懸念材料 (前・当月)・GDP4-6月は前期の反動で 6.8%の大幅減少。失業率 3.8%と 2 か月連続でやや悪化。所得はボーナス増で改善の兆し、車販売底打ちの兆しも住宅は大幅な落込みで消費は 4 か月連続で、マイナス。輸出はマイナスからプラスへ。機械受注、生産、投資は復調傾向。景気は生産、投資を中心に復調の兆し。経常益 4-6 月期は 2%増で自動車、機械好調、電機回復。株価回復基調。 景気回復持続、財政赤字の縮小が課題。大幅貿易収支赤字が懸念材料
アジア・大洋州	-株価:上海 16日 2,085、19日 2,023、30日 2,048 -中国:5月:輸出 7.0%増、輸入 1.6%減、工業生産 8.8%増、固定資産投資 17.2%増、小売総額 12.5%増、新車販売 8.5%増、製造業景況感 50.8% 1.4 点上昇、1-5月:対中投資 2.8%増、14年:ハイラル 1万人削減 -韓国:5月:輸出 0.9%減、輸入 0.3%増ウォン高警戒 -台湾:5月:輸出 1.4%増、輸入 2.3%減、海外受注 4.7%増、鉱工業生産 5.2%増半導体、LED -東南アジア 6カ国:5月:新車販売 11%減、13 か月 - -フィリピン:5月:消費者物価 4.5%増、新車販売 24%増 -インドネシア:5月:新車販売 3%減 -ベトナム:5月:消費者物価 4.7%、新車販売:25%増、1-6月:GDP 5.1%増 -マレーシア:5月:新車販売:13%増 -タイ:18日政策金利 2.0%据置、5月:新車販売 3.8%減、車生産 36%減、 -インド:5月:新車販売 3%増 9 か月ぶり +、消費者物価 8.28%	-株価:上海 8日 2,064、10日 2,038、31日 2,201 -中国:TV販売減少、6月:輸出 7.2%増、輸入 5.5%増、車販売 5.2%増、製造業景況感 52.1、4-6月:GDP 7.5%増、純益:レノバ 23%増、1-6月:固定資産 17.3%増、工業生産 8.8%増、小売総額 12%増、新車販売 8.4%増、純利益:上海汽車 18.4%増 -韓国:6月:輸出 2.5%増、輸入 4.5%増、1-6月:輸出 2.6%増、4-6月:GDP 前期比 0.6%増、投資 1.3、輸出 1.9、営業利益:サムスン 24%減 7200 億円、現代 7%減 -台湾:6月:鉱工業 8.6%増、輸出 1.2%増、4-6月:GDP 3.7%増、純利益:ホンハイ 19%増、メディアテック 87%増 純益 TSMC15%増 2030 億円 -東南アジア 6カ国:1-6月:自動車販売:11%減 -フィリピン:6月:新車販売 38%増、4-6月:GDP 6.4%増、輸出 -インドネシア:6月:消費物価 6.7%、0.6 点下 4-6月:GDP 5.1%増 -ベトナム:6月:新車販売:23%増 1.1 万台、4-6月:GDP 5.3%増 -マレーシア:10日:0.25%下げ年 3.25%、4-6月:GDP 6.4%増 -タイ:1-6月:車生産 26%減、車販売 40.5%減 -シンガポール:4-6月:GDP 2.4%増 -インド:6月:新車販売 7%増、4-6月:GDP 5.7%増、消費・投資	-株価:上海 1日 2,185、19日 2,245、29日 2,217、 -中国:7月:輸出 14.5%増、輸入 1.6%減、固定資産 17%増、小売総額 12.2%増、工業生産 9%増、製造業景況感 51.7、0.7 点増、車販売 6.7%増、1-7月:対中投資 0.4%減 -韓国:13日 4.1 兆円経済対策、14日 0.25%下げ年 2.25%、7月:輸出 5.7%増、輸入 5.8%増 -台湾:7月:輸出 5.8%増、海外受注高 5.7%増 -東南アジア:7月:車販売 16%減 -フィリピン:10日 0.25%上げ年 3.75%、7月:消費物価 4.9%上、0.5 点上 -インドネシア:消費物価 4.5%、2.2 点下 -タイ:4-6月:GDP 0.4%増 -インド:7月:新車販売 2%増、消費者物価 8%増	(前々月)・中国は 4-6月 GDP7.5%と横這、投資・消費高水準、生産堅調、輸出回復傾向、企業業績明暗、株価低迷。韓国、輸出回復傾向、建設・輸出で成長維持、企業業績頭打ち。台湾、生産・輸出は回復傾向、企業業績好調。直近の GDP、マレーシア 6%台、フィリピン、インドネシア、ベトナム 5%台成長、インドネシアは物価高騰。シンガ 2%台成長。タイ消費・生産低迷で 2%台。インドは物価高騰、生産低迷も車販売反転傾向で 4%台成長 (前・今月)・中国は 4-6月 GDP7.5%と横這、投資・消費高水準、生産堅調、輸出好調、企業業績好調。IT好調、株価底打ち兆し。韓国、ウォン高も輸出回復傾向、建設・輸出で成長維持、企業業績好調。その他の直近の GDP、マレーシア、フィリピン 6%台、ベトナム、インドネシア 5%台成長。シンガ 2%台成長。タイほぼ横這。インドは物価高騰、生産低迷も車販売反転傾向、消費、投資増で 5%台成長

北米	<p>-景気:5日FRB経済活動は全12区で拡大、5月:製造業景況感55.4前月比0.5ポイント増</p> <p>-財政・金融:19日:FRB資産購入月450億ドル 350億ドル量的緩和縮小</p> <p>-株価:<u>3日16,722</u>、20日16,947最高値、<u>30日16,826</u></p> <p>-雇用:5月:失業率6.3%横這、21.7万人</p> <p>-消費:5月:個人消費前月比0.2%増、小売売上高4.3%増、前月比0.3%増、新車販売11.4%増161万台、新築販売前月比18.6%増、住宅着工9.4%増、前月比6.5%減、中古住宅販売前月比4.9%増</p> <p>-生産:5月:鉱工業4.2%増、前月比0.5%増</p> <p>-貿易:5月:輸出:4.9%増、輸入3.3%増、貿易赤字444億ドル前月比5.6%減</p> <p>-投資:5月:設備稼働率79.1%0.5ポイント上昇</p>	<p>-GDP:4-6月:年率4.2%増、消費2.5%、投資5.5%、輸出9.5%</p> <p>-景気:6月:製造業景況感55.3前月比0.1ポイント減</p> <p>-財政・金融:7日:FRB量的金融緩和10月終了、16日:終了後も0金利継続、31日:量的緩和縮小8月~350 250億ドル</p> <p>-株価:<u>8日16,906</u>、16日17,138最高値、<u>30日16,563</u></p> <p>-雇用:6月:失業率6.1%0.2ポイント改善</p> <p>-消費:6月:個人消費1.5%増、小売売上高4.3%増、新車販売1.2%増営業日2日少:1-6月:新車販売:4.3%増、住宅着工7.5%増、前月比9.3%減、中古販売前月比2.6%増、価格8%増</p> <p>-生産:6月:鉱工業4.3%増</p> <p>-貿易:6月:輸出:2.6%増、輸入4.7%増、</p> <p>-収益:4-6月:純益:主要500社8%増、GE13%増35億ドル、アップル12%増78億ドル、IBM28%増41億ドル、インテル40%増、ケルコム42%増、TI3%増、ホーキング1.5倍、フォート6%増、GM84%減</p> <p>-投資:11日IBM半導体投資5年3千億ドル、6月:設備稼働率79.1%横這</p>	<p>-株価:<u>7日16,368</u>、27日17,122、29日17,098</p> <p>-雇用:<u>15日シスコ6千人削減</u>、7月:失業率6.2%0.1ポイント上</p> <p>-所得:7月前月比0.2%増</p> <p>-消費:7月:消費前月比0.1%減、小売売上高3.7%増、車販売9.1%増、住宅着工21.7%増、前月比15.7%増、中古販売前月比2.4%増</p> <p>-受注:7月:耐久消費財前月比22%増</p> <p>-生産:7月:鉱工業前月0.4%増</p> <p>-収益:5 7月:純益:シスコ1%減、HP29%減</p> <p>-投資:7月:設備稼働率79.2%0.1ポイント増</p>	<p>(前々月)・GDPは1-3月1.0%減(改定値)、3年ぶりマイナス。失業率6.1%で若干改善。住宅減速、車販売回復傾向、個人消費は堅調。輸出は回復傾向、生産堅調、投資やや鈍化。企業収益4-6月6%増と回復傾向、システム・電子部品好調、自動車明暗。株価最高値更新高水準。成長持続、雇用拡大が課題。金融緩和縮小の影響が懸念材料。</p> <p>(前・今月)・GDPは4-6月年率前期比4.2%増、失業率6.2%でやや上昇、住宅再び増加、車販売回復傾向、個人消費は堅調。輸出は回復傾向、生産・投資堅調。景気は消費、輸出、生産、投資とも堅調。企業収益4-6月8%増と回復傾向、システム・電子部品好調、一部車、IT関連減速。株価最高値水準。成長持続、雇用拡大が課題。金融緩和縮小の影響が懸念材料。</p>
欧州	<p>-財政・金融:6日ECB政策金利0.1%減(年0.15%)、マックス金利導入</p> <p>-株価:英FTSE9日6,875、<u>25日6,733</u>、<u>30日6,743</u></p> <p>-雇用:5月:失業率11.6%横這、独5.1%、仏10.1%、伊12.6%、スペイン24.7%、蘭7.0%、ポーランド9.6%</p> <p>-消費:5月:小売売上高:ユーロ0.6%増、独0.1%減、仏1.4%増、英3.6%増、スペイン0.7%増、ポーランド2.0%減、新車販売:欧州4.2%増、独5.2%増、仏0.3%増、英7.7%増、伊3.8%減、スペイン16.9%増、蘭3.4%増、ポーランド8.6%増、</p> <p>-生産:5月:鉱工業:ユーロ0.6%増、独1.4%増、仏3.9%減、英2.5%増、伊1.7%減、蘭1.6%減、スペイン2.5%増、ポーランド2.1%増</p> <p>-貿易:5月:ユーロ輸出・輸入横這</p>	<p>-GDP:4-6月:前期比年率:ユーロ0.7%増、独1.3%、仏0.1%、英3.1%、伊0.3%減、スペイン1.2%、蘭0.9%、ポーランド3.2%</p> <p>-財政・金融:3日:ECB政策金利年0.15%据置過去最低、10日:英中銀政策金利0.5%据置、11日:欧州株、債権下落、ポルトガル中銀大手銀救済</p> <p>-株価:英FTSE4日6,866、<u>10日6,672</u>、31日6,730</p> <p>-雇用:6月:失業率ユーロ11.5%1ポイント回復、独5.1%横這、仏10.2%、伊12.3%、スペイン24.5%、蘭6.8%、ポーランド9.5%</p> <p>-消費:6月:小売売上高:ユーロ2.4%増、独2.7%増、仏4.9%増、英3.5%増、スペイン0.2%増、ポーランド0.5%減、新車販売:欧州3.9%増、独1.9%減、仏2.5%増、英6.2%増、伊3.8%増、スペイン23.9%増、蘭5.9%減、ポーランド2.2%増、</p> <p>-生産:6月:鉱工業:ユーロ横這、独0.4%減、仏横這、英1.5%増、伊0.4%増、蘭1.1%減、スペイン0.5%増、ポーランド1.7%増</p> <p>-貿易:6月:ユーロ輸出3%増、輸入2%増</p> <p>-収益:4-6月:純益:シメンス28%増、BMW27%増2400億円、ダイムラー26%減2880億円、フィリップス24%減330億円、</p>	<p>-政治:EU・ロシア追加制裁</p> <p>-財政・金融:7日:ECB金利0.15%据置き</p> <p>-株価:英FTSE<u>8日6,567</u>、27日6,830、29日6,819</p> <p>-雇用:7月:失業率ユーロ11.5%横這、独4.9%0.2ポイント下</p> <p>-消費:7月:新車販売:独7%増</p> <p>-収益:1-6月:純利:ルノー20倍、VW15%増、7700億円、ボルシエ8%増</p>	<p>(前々月)・GDP1-3月ユーロ前期比0.9%、4四半期連続微増。失業率は高水準横這。自動車販売は回復傾向、消費は英仏独スペイン、ポーランドを中心に回復傾向。輸出低迷、生産は英、独、スペインを中心に回復傾向。投資は停滞。企業業績は自動車、システムとも減速傾向。株価低迷。高水準の失業率の低下、景気回復が課題。ウクライナ問題が懸念材料</p> <p>(前・今月)・GDP4-6月ユーロ0.7%増、5四半期微増。失業率は高水準横這。自動車販売は回復続く、消費は英仏独スペインを中心に回復傾向、輸出回復兆し、生産はほぼ横這も英、独、スペイン、ポーランドは回復傾向。投資は停滞。景気は消費を中心に極めて緩やかに回復。企業業績は自動車、システムとも総じて好調。株価低水準上下。高水準の失業率の低下、景気回復が課題。ウクライナ問題が懸念材料</p>
中東ア	<p>-トルコ:16日:政策金利0.75%引下げ8.75%に、5月:新車販売27.6%減6.2万台</p> <p>-エジプト:9日シン大統領就任</p>	<p>-トルコ:17日:政策金利0.5%引下げ8.25%に、6月:新車販売17.9%減6.4万台、消費者物価9.16%増</p> <p>-南ア:18日0.25%引上げ年5.75%へ、6月:消費者物価6.6%、4-6月:GDP前期比年率0.6%増</p>	<p>-トルコ:12日エルドアン大統領へ</p>	<p>・イラク、シリア、リビア、南スーダン等で政情不安定。エジプト、アルジェリア安定化傾向。サウジアラビア、クウェート、UAE、ケニアは安定成長。トルコ4%台成長。南ア、物価高、金利上げ、低成長。中東・アフリカ情勢の安定化が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:5月:新車販売7.2%減29.3万台</p> <p>-メキシコ:6日:政策金利0.5ポイント下げ3.0%に、5月:新車販売0.8%増8.8万台</p> <p>-アルゼンチン:債務返済判決デフォルト懸念</p>	<p>-ブラジル:16日:政策金利11%維持、6月:鉱工業生産6.9%減、新車販売17.3%減、4-6月:GDP0.9%減2四半期</p> <p>-メキシコ:6月:新車販売0.5%増8.4万台、4-6月:GDP:1.6%増、1-6月:輸出4.2%増</p>		<p>・ブラジル経済は米金融緩和縮小の影響、物価上昇による金融引締め、消費、生産低迷でマイナス成長。メキシコ経済は資金流失、信用収縮も輸出増等で1%台成長。経済回復が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:5月:新車販売12.2%減、20.1万台、5ヶ月連続マイナス</p>	<p>-ロシア:26日金利0.5%引上げ年8%へ、6月:新車販売17.3%減、19.9万台、6ヶ月連続マイナス、4-6月:GDP0.8%増投資、消費落込み、1-6月:新車販売7.6%減</p>	<p>-ロシア:7月:新車販売22.9%減、18.1万台、7ヶ月連続マイナス</p>	<p>・ロシアは輸出の減少、消費、投資、生産の低迷で1%以下の低成長、ウクライナ問題への欧米制裁の影響懸念、経済回復が課題。</p>